

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホームうたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	平成27年1月17日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年2月6日	外部評価確定日	平成27年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>周りを田園に囲まれ近くに小学校、保育園と住宅環境に恵まれ子供達の通園通学の様子を眺め明るい声にも触れることができる場所に位置してホームは建っています。 家庭的な雰囲気と一人ひとりのペースに合わせた支援、また楽しいレクリエーションや体操を提供し職員との会話をとても喜ばれますので出来るだけ多くの時間を持ち笑い声の絶えないホーム作りに努めています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>小学校・保育園が近くにある静かな住宅地の中に施設があり、畑には野菜や花が植えられ、季節を感じることができる。野菜は、収穫し食卓に上り、利用者と職員と一緒に楽しむことができる。また、職員間の人間関係とチームワークの良さが施設の雰囲気に表れている。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念の唱和と各棟の介護理念を毎朝、朝礼時に唱和を行っています。	基本理念と各棟が実践しやすい様に具体的に掲げた理念を朝礼時に唱和し実践に繋げています。	「敬愛・信愛・友愛」この3愛を中心に、一人ひとりに寄り添い実践できるよう、朝礼時に唱和している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区のクリーンデイの参加、散歩時の挨拶や地域の運動会見学、また避難訓練時地元の消防団や地域協力員様の参加をお願いしています。	地区のクリーンデイの参加、散歩時の挨拶や地域の運動会見学、また避難訓練時地元の消防団や地域協力員様の参加をお願いしています。	保育園、小学校の運動会の時は、見学に行ったり、隣接のデイサービスの行事に参加し、友人との会話を楽しんだりされている。年2回の地域の大掃除には、職員が参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域との交流が少なく認知症の理解や支援方法を地域に向けて活かすことができていません。	地元消防団との避難訓練時に支援の方法等伝達できる分は伝達しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会では、施設の状況報告等を行っているが意見や質問などが少ないのが現状であります。	会議で報告や話し合いをする中で自分達の支援を再検討したり地域交流のアイデア等も出してもらい実践に繋がる様努めています。	運営推進会議には、役場職員・家族代表・地域代表・職員等の参加で、二ヶ月に一回開催されている。利用者の地域との交流が少ないのではとの意見があり、今後の交流の在り方を考え努力していきたいと言われている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進員に市町村担当者の参加をお願いし意見や話しをしてもらいます。	運営推進委員会に出席をお願いし日頃の様子の理解と協力(昨年は公の制度の講習)をお願いしています。	運営推進会議で町の担当者に施設の現状を報告している。アドバイスを受けたり、意見を交換し、協力関係が築けるよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設け職員会議などで話し合い、「目配り、気配り、センサーマットを使用する」ことで安全を確保し身体拘束しないケアに取り組んでいます。	センサーマットや人感センサーの利用と見守りで身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいます。	日中は玄関の施錠は行わず、徘徊などの場合は、見守りで対応している。拘束マニュアルはあり、外部研修に職員が参加している。それを職員会議で報告し、職員全員で共有化し身体拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修への参加や虐待防止委員会を設け職員会議の際、話しをしているが声掛けなどに反省する点が見られます。	研修への参加や虐待防止委員会を設け職員会議の際、話しをしているが声掛けなどに反省する点が見られます。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会の参加や運営推進委員会の際、役場の方より成年後見制度について話をしていただいた。必要性がある場合は活用できるようしています。	研修会の参加や運営推進委員会の際、役場の方より成年後見制度について話をしていただいた。必要性がある場合は活用できるようしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者への説明は行っていないが家族へは改定等があった際は説明し署名捺印を頂いている。またその際、疑問などが無いかなを尋ねています。	入所の際、契約書に基づき十分な説明をし、改定の場合も新たな書面を持って十分に説明し、理解と納得を得られる様にしています4。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置したり面会時に意見を聞いたり介護相談員様の意見を聞き運営や個別サービスなどに反映できています。	介護相談員様の訪問があり利用者様の話を聞いてもらったり家族の面会時や利用者様との会話の中で要望等あれば聞いて運営に反映させています。	家族の面会時などに、要望や意見などを聞くように心掛けている。意見箱も設置しているが、現在まで利用はない。家族・利用者の意見を運営に反映できるよう、施設の行事の場などを利用し意見を聞いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や日常業務内で話せる機会が増え職員からの意見や提案が聞かれる様になり反映できている。	職員会議の時はもちろん普段から意見や提案は良く聞き反映させている。	1か月に1回職員会議を行い、意見を聞いている。職員へのアンケートを実施して、内容を運営に反映させるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	チャレンジシートを半期毎に提出し、各自目標設定を行い達成度と評価を行っている。労働環境については、労務協定により随時整備に努めています。	チャレンジシートを半期毎に提出し、各自目標設定を行い達成度と評価を行っている。労働環境については、労務協定により随時整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の事業計画においても職員の資質向上を掲げており、職務研修や資格取得への特別休暇も制度化しています。	法人の事業計画においても職員の資質向上を掲げており、職務研修や資格取得への特別休暇も制度化しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県の老協主催による研修によって交流を初めとして職場内研修を通じてスキルアップに努めています。	県の老協主催による研修によって交流を初めとして職場内研修を通じてスキルアップに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に本人様や家族様と面談を行い会話の中で良好な関係を築き、利用者様が持っておられる不安や要望などを聞き安心できるように努めています。	入所前に本人を訪問し、不安を少しでも軽減する為に声掛け、傾聴に努め、基本情報等も参考に本人の理解に努めています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に家族様に施設見学をして頂き、家族様との面談を行う事で家族様や利用者様の近況や不安、要望などを聞き安心して頂けるような関係作りを行っています。	入所申し込みの際や本人の面会時、家族の話しを良く聞き相談に乗るなど関係作りには努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の様子を見ながら家族様や利用者様より話を聞き本人様に何が必要かを見極め対応しています。	入所前に本人を訪問、家族、担当ケアマネ、利用されていた事業所より状況を聞きサービスに反映しています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は介護する傍ら利用者と共にできる範囲の家事を一緒にやり食事をする事で良好な関係を築いています。	洗濯物量みや掃除、食事の準備を職員と一緒にしたり畑の野菜作りや漬け物作りを教えもらったり日常生活の中で自分でできる役割を持ってもらい助け合える関係を築いています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会はゆっくり話ができるよう場を提供し、最近の状況を伝え、行事を通じて交流していただいています。	職員だけでは対応しきれない不穏時の面会や美容室行き、仏様参り等家族様の協力を頂き、体調変化などの連絡は密に取り、共に支えて行く関係を築いています。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様以外の面会や隣のデイサービスへ慰問見学の際、知り合いの方と話をされ、受診の際に待合室で顔見知りの方と話をされています。	外泊受け入れが難しくなっていますので盆、正月など親戚、家族の集まる時に自宅へ外出を受け入れてもらえるようお願いしたり、デイサービスや病院受診時の知人との交流を支援しています。	定期的な病院の受診、隣接のデイサービスでの友人との面会、家族・孫の行事の時に家族の協力を得て外出・外泊など、関係が途切れないよう努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや洗濯物量みなどは職員が一人ひとりに声をかけ、席替えを考慮するなどし利用者同士関わりが持てるよう支援を行っています。	気の合う利用者同士の関わりを支えるのはもちろん、攻撃的にならない様な配慮、孤立を防ぐ工夫をしていますが、ますます難しくなってきました。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お会いした際に近況を伺ったり話の内容では相談や支援に努めています。	会った時には挨拶を交わす程度、支援までには及んでいません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で利用者様の思いや能力などを見極めながら計画に反映し、困難な方は家族様や日頃の様子を職員間で話し合い本人様本位に努めています。	出来る限り個人の思いに添うよう努めていますが、体調コントロール等から食事やおやつ等希望に添えなかったり職務上個別対応が難しかったりもあります。	日常生活やケア時の会話、表情等より本人の思いや希望を把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前の聞き取りや担当ケアマネからの情報提供を職員が共有し、面会時に家族様より話を聞いたり、レクリエーション時に回想法によりこれまでの暮らしの把握に努めています。	入所前の事前の聞き取りや担当ケアマネからの情報提供を職員が共有し、面会時に家族様より話を聞いたり、レクリエーション時に回想法によりこれまでの暮らしの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の能力やその日の体調などに合わせ無理なく過ごして頂けるよう声掛けや支援を行い、日々の記録の記載によりケース会議等で利用者様個々について話し合いを行い現状の把握に努めています。	利用者様の能力やその日の体調などに合わせ無理なく過ごして頂けるよう声掛けや支援を行い、日々の記録の記載によりケース会議等で利用者様個々について話し合いを行い現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケース会議を行い利用者様の日常生活での様子を職員で話し合い、それに本人様、家族様の意見を考慮しモニタリングを行い、介護計画に反映し現状にあった介護計画を作成しています。	家族様には月一回モニタリングし、意見を求めています。殆ど同意のみ、職員間では気付いた時に常に話し合い意見交換をして介護計画を作成しています。	家族の面会時など積極的に会話をし、意見を聞くように心掛けている。また、利用者一人一人に担当者を決め、職員会議の時に意見を交換して、本人本位の計画となるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケースに記録し、見直しが必要な時は情報を伝え、その時々で話し合い実践し計画に反映させています。	個別の介護記録等により気づきや情報の共有に努め実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様との会話の中から不安や思いを聞き取り、職員間で話し合ったり、面会の際は家族様からも話が聞けるよう場を設け、その時々発生するニーズに対して柔軟に対応できるように取り組んでいます。	本人の状況、状態変化に応じてサービス提供も柔軟に対応し、取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元消防団との避難訓練やボランティアの受け入れ、町民運動会の見物、お地蔵様までの散歩、スーパーまでの買い物など支援しています。	地元消防団との避難訓練やボランティアの受け入れ、町民運動会の見物、お地蔵様までの散歩、スーパーまでの買い物など支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診の際は職員が同行し状態を伝え、緊急時はその都度対処し、医師との話し合いで家族の必要性がある際は家族も受診に参加してもらっています。入院の際は、情報提供を行っています。	近隣の医院には受診介助も行い緊急対応も直ぐに出来ています。また、家族付き添いの受診時は、情報提供も行っています。	かかりつけ医への受診は、基本は家族の方をお願いをしているが、近隣のかかりつけ医院へは職員が付き添い受診を行っている。受診結果は、家族へ電話で連絡したり、面会時に報告している。また、利用者の状態によっては協力医への受診を行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の異常に築いた際や判断がしづらいつい時、また夜間帯の体調不良時は看護職員に応援をお願いし判断を仰ぐことがあります。	随時看護職員に情報、気づきを伝え相談、受診の検討等も行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院時のカンファレンスに参加し情報交換を行うことで病院関係者との関係作りを行っています。	入退院時の情報交換、退院時は家族と共にカンファレンスにも同席、今後の対応に役立てています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所でできることを入所時に説明し、重度化された場合については家族や医師などと話し合いを行っています。	重度化や終末期に関しては契約時に説明、同意を得ています。現状報告を密にし重度化等入居者様の状態に合わせて家族や主治医との話し合いをしています。	入所時に施設で出来ることの説明を行い、家族の方の同意を得ている。現在まで、看取りを行ったことはなく、利用者の状態に応じて協力病院への入院などで対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会の参加や急変時や事故発生時のマニュアルを作成しているが、訓練はできていません。	AED講習や感染症対応の勉強会、外部の研修会への参加等行っていますが、定期的までには至っておらず実践力も充分身に付いてとは言えません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を地域の方を交えて行っています。年2回の避難訓練を行い、夜間帯訓練時は地元消防団や地域協力員の協力を得ています。	防災訓練は年2回、地元消防団、一部地元住民の協力を得て実施しているが、地元住民の協力体制をもっと強化出来るように努めます。	地元の消防団や地域の協力員さんの参加を得て、年二回訓練を行い、一回は夜間帯に実施している。職員は、消火器の使用が出来る。災害時の避難場所は確保できているが食料の備蓄は特に行っていない。	災害時の食料の備蓄を3日分ほど準備されてはいかがでしょうか、賞味期限がありますが施設の行事の時など家族の方などに提供し味見などしていただいてもいかがでしょうか。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の意見を尊重しプライバシーを損ねないように言葉掛けや支援を行っています。時々、声掛けに配慮が足りないことがあります。	人格を尊重し敬うよう言葉掛けや支援方法に気を配り対応に努めています。が、時に気配りを欠く対応があります。	人生の先輩としての敬意を持ち接している。排泄誘導時などは、利用者全員に言葉かけを行う気配りをしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時の衣類選びや、作品作り、レクリエーションなどの参加を決めてもらうなど日頃の生活の中でその時々々の状態を見たり、聞いたりし自分で選べるように働きかけを行っています。	一人ひとりの思いや心に気付き自己決定できるように声掛けの仕方等に注意を払っています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にと思いい対応していますが、職員の都合により対応したりしている部分が多いです。	睡眠、食事、入浴等出来る限り一人ひとりのペースを大切にしながら過ごして頂いていますが、入浴の順番等本人の希望ばかりには添えない事も出てきて、全体を見据えた支援になる事もあります。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で衣類を選べる人には選んでもらい、髪は有料散髪や洗顔時に自分で整えたり職員が支援をしています。また、化粧品を希望される方は家族に持参して頂き髭そりも自分でされたり、女性の方は介助を行っています。	殆どの方が訪問理容を利用し、家族介助でパーマや白髪染めをされる方もある。服は本人の好みを重視、購入をお願いしたり頼まれれば購入の支援もしています。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブル、お盆拭きや調理準備、盛り付けなど手伝ってもらい、食べやすいよう食事形態や量を工夫し、職員も利用者と一緒に食事をする事で会話しながら食べられるようにしています。	テーブル拭きや料理のつぎ分けをお願いしたり食事も食べやすいように刻んだり炊きにししたりして提供する方もあります。食べたい物を聞いて一夜漬けなどは一緒に作ったりもしています。	施設内にある畑で採れた野菜を収穫し、料理に使ったり、野菜の下ごしらえや料理のつぎ分け、後片付けなど一緒に行い、職員も同じ食事を同じテーブルで楽しんでいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	かかりつけ医の指示に従いバランスの摂れた食事を提供し利用者一人ひとりの能力に合わせ食事形態や食事量に変化を付けて食べていただいています。また水分量の確保のためにお茶以外の飲み物を提供し回数を増やすなどしています。	個人に合った食べやすい形態、食事量を調整し提供、水分も一度にはなく間をおいて十分に摂ってもらうよう声掛けしています。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後洗面台に誘導し本人のできる能力に応じ椅子の準備や洗浄介助や声掛けを行い、週1回曜日を決め義歯消毒を行っています。	毎食後口腔ケアへの誘導、声掛け介助を行い能力に応じた支援、歯間ブラシの利用や義歯洗浄は定期的に行っています。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様の能力に応じた支援を行い尿意が無い方は定時の誘導を行い排泄介助やパット交換を行い使用量を少なくするよう心掛けています。また排泄介助に拒否がある方もおられ職員が交代で介助にあたる方もいます。	排泄声掛け誘導をし、夜間の頻尿等も病院に相談したりしていますが中々改善せず、失敗も増えパットの使用量も増えてしまいました。	入所時より定時の誘導言葉かけを行い、排泄チェック表を活用し、排泄パターンの確認を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人の排便状況を把握し、食物繊維の多い食品、乳酸菌飲料などの提供や歩行運動を行っていますがそれでも排便が無い際は、かかりつけ医に相談し内服を処方してもらいスムーズに排便できるよう心掛けています。	個人の排便状況を把握し、食物繊維の多い食品、乳酸菌飲料などの提供や歩行運動を行っていますがそれでも排便が無い際は、かかりつけ医に相談し内服を処方してもらいスムーズに排便できるよう心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっています。受診者や早目に入りたい方を優先し出来る限り希望を聞きゆっくり入浴できるよう配慮しています。その際利用者様に話を聞くように努めています。	入浴の曜日は決めてあり昼間の入浴、順番は偏らないように部屋順ですが入浴中は慌てさせずゆっくり入ってもらっています。	週3回昼間に1人ずつゆっくりと入浴を楽しんでいただけるようにしている。拒否のある利用者の方には、無理に促さず、時間を空けて再度促したり、清拭を行ったりして対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	空調や声掛けに気を配り安心して休むことができるよう支援しています。最近では昼に眠たくなる方が多かったため昼寝の時間を設け居室でゆっくり寛いでもらえるようにしています。	昼食後の午睡が定着しています。夜間不眠の方には日中の運動や眠剤の調整をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時、最近の状況を伝えかかりつけ医の指示を報連相ノートに記載したり、薬の変更があった際は薬剤情報提供表に変更になったことを記載したり薬チェック票や個人の記録票の表紙の裏に貼るなど常に職員が分かるようにしています。	処方箋やDrからの説明を報連相ノートで連絡し服薬支援、状況観察に努め、またDrに変化の報告もしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる能力を生かし、一緒に家事を行ったり、新聞の提供や読んで聞かせたり、またレクリエーションで楽しんでいただき散歩や外気浴を行うことで気分転換ができるよう支援しています。	台拭きやお盆拭きは競争されないように個人の役割として、洗濯物干し畳み等は皆さんで行ってもらいます。また、体操レクリエーション手芸等の楽しみ事、畑仕事や散歩等の気分転換を支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や外気浴、隣のデイサービスへ慰問見学に出掛け、年に何回かはドライブや買い物なども出掛けています。また家族や親類の方の協力を得て外出も行っていきます。	外出支援も個人対応になってきており中々思うようには出来ません。近くのスーパ―やお地蔵さん、ホーム周辺の散歩が主です。外出支援が難しい為、玄関やウッドデッキでの外気浴提供、家族で気分転換に外出支援をしてくださるところもあります。	天気の良い日など散歩やウッドデッキで日光浴を行っている。ドライブなどの希望があるときは家族の協力を得て実施したり、又施設の行事として実施している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	少額を自身で持っておられる方もおられますが、通常は職員が小遣いを管理し、利用者様の必要に応じて購入し小遣い帳に記載し、領収書等は後日家族様へ渡し、小遣い帳に署名を頂いています。	安心の為お金を所持している方もおられますが、殆どの方が不所持です。家族から小遣を預かっているため希望があれば使える事を話していますが使用の希望は殆どありません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や親類への電話の受け付けや不穩時に家族様と話をしてもらい安心されるようにしています。また年賀や暑中見舞いなどのハガキは本人様の送りたい方に届くよう支援しています。	電話を掛けて欲しいと希望はあるが自分では出ようとされません。手紙を書くこととされる方もなく年賀状や暑中見舞いを自筆で書ける方には支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	外庭やプランターに季節の花を植え、畑には野菜を作り料理に使用しています。外庭の花や職員が持参した花を飾り、席替えや椅子の配置に気を配り、季節ごとに利用者と共に作成した掲示物を壁に貼り、心地よいBGMも音量を調整しつつ空間作りに努めています。	室内の環境を整える為、西日の遮光、エアコンの調整、防臭等気を配り季節感のある掲示物、テレビの音量、道具類の整理整頓にも気をつけている。	掃除の時は、居室の窓を開け空気の入替えを行い、臭いがこもらないようにしている。畑には、季節の野菜を栽培されており、季節感を感じ居心地良く過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の隅に椅子を置き語らいの場を設け、仲の良い利用者様同士居室へ遊びに行き楽しく談話ができるよう支援を行っています。また時間なども配慮しています。	ソファー席が利用者間で自然に決まってしまう他の方の受け入れが難しいのでトラブルが起きないように配慮しています。また集団の中では食事が進まない方には見計らって一人でゆっくり食事が出来るスペースを提供するようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者様が心地よく過ごせるよう写真や誕生日カード、作品を貼り衣類や身の回りの慣れ親しんだ家具等を持参して頂くなど安心して過ごせるように支援しています。	家族写真やプレゼント、使い慣れた椅子や筆筒、枕等を持ってきている方、仏壇を持って来られている方もいます。入居してからの本人様の作品を飾り殺風景にならないよう対応していますが異食行為等で全く出来ない居室もあります。	仏壇・家族写真・椅子など自宅と同じよう居心地良く過ごしていただくため、希望されるものは持ち込み可能です。利用者が部屋に物を置くのを嫌がられる場合もあり、本人本位に支援されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入口の戸には目線を先に名前札を貼ったりトイレの貼り紙や転倒予防のためにセンサーマットを使用して安全安心に過ごせるよう支援を行い目配り気配りを行うことで利用者様の安全確保に努めています。	居室の名前札やトイレの貼り紙、目印をつけ安全のため危険物を目につかない所に片付け、洗面所に椅子を置いたり手摺りを設置する等出来る限り自分で出来るように工夫しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない